

平成21年度 シラバス	学年・期間・区分	5年次・後期・B群
	対象学科・専攻	土木工学科
河川工学 (River Engineering)	担当教員	疋田 誠 (Hikida, Makoto)
	教員室	土木工学科棟3階 (Tel 42-9122)
	E-Mail	hikida@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義] / 1単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業 (50分) + 自学自習 (100分)〕 × 18回	
〔本科目の目標〕地球環境・地域社会に位置付けられた河川に関する理解と技術を学ぶ。このため、川を治水・利水・環境の3つの観点から、実際の川に足を運び、レポートを作成、総合学習を行う。		
〔本科目の位置付け〕数学・物理学・情報処理・地学・環境生態学・水理学・計画学・歴史学・施工学・環境工学等との関連がある。		
〔学習上の留意点〕 河川行政の中で、幅広い視野・土木技術者としての倫理、地球環境問題における河川を対象にした総合的学習を行う。学習の内容をよく理解するために、毎回、予習や演習問題を含む演習として、100分以上の自学自習が必要である。講義時に提出すべき課題が与えられた場合、2時間程度の復習に取り組み、レポート提出を行うこと。疑問点があれば、その都度質問すること。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 河川と社会	2	文明と川、地勢を見る、河川の管理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる
2. 河川技術の基礎	4	流出解析、計画高水の水理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる
3. 川と治水	4	水害の変遷、治水対策の変遷、治水対策の手法が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる
4. 川と利水	4	川の水利用、ダム、貯水池の水質水理が理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる
5. 川と環境	2	河川環境とは、河川の水質、魚が住む川、植生のある川へ、多自然型川づくりが理解できる 演習問題を通して理解を深めることができる
--- 定期試験 ---	2	授業項目について達成度を確認する。
試験答案の返却・解説		試験において誤った部分が理解できる
〔教科書〕	河川工学 (大学土木) 玉井信行編 オーム社	
〔参考書・補助教材〕	水理学演習 (上・下) 椿東一郎・荒木正夫 森北出版 最新 河川工学 岩佐義朗 森北出版 河川工学 篠原謹爾 共立出版	
〔成績評価の基準〕	定期試験成績 (70%) + 小テスト・レポート (30%) - 授業態度	
〔本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連〕	3-c	
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕	3-3	
〔JABEEとの関連〕	(d)(2)a	